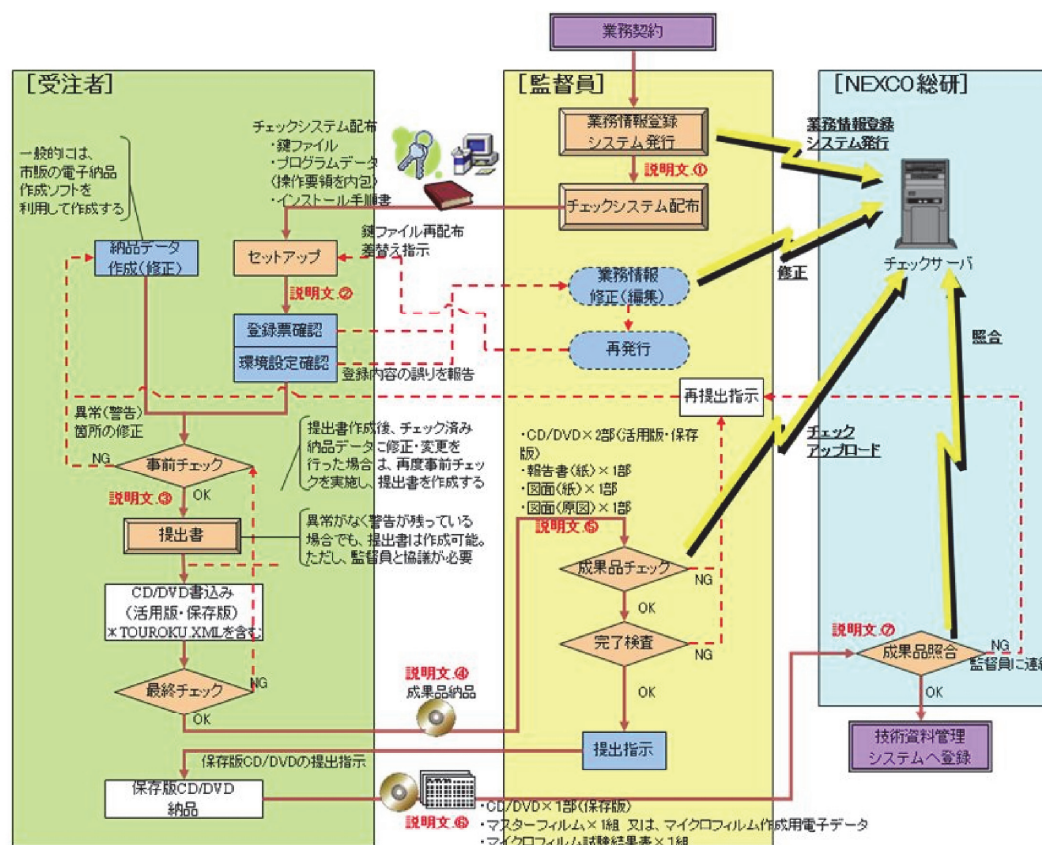


# ◆電子納品データチェックシステム

電子納品データチェックシステム及び操作マニュアル(受注者用)は監督員から配布されます。

調査・研究等において、電子納品チェックシステムを利用した電子納品手続きの流れを下に示します。



## ①業務情報登録及び鍵ファイル発行

監督員は、業務情報の登録を行い、チェックサーバから受注者用チェックシステムの起動に必要な複号化ファイル(以下「鍵ファイル」という)を発行します。発行された鍵ファイルは、受注者に配布されます。(鍵ファイルがないとシステムを起動できません。)また同時に、本システムをコンピュータに組み込むためのプログラムデータ(操作要領を内包)、インストール手順書を発行し、受注者へ配布されます。

## ②チェックシステムのセットアップ

受注者は、配布されたプログラムデータを用いて本システムのセットアップを行います。  
セットアップ方法は、①で配布されるインストール手順書を参照して下さい。

## ③納品データのチェックと提出書の作成

受注者は、本システムを用いて納品データのチェックを行います。チェックの結果、納品データに異常がない場合、引き続き提出書を作成します。(納品データの電子提出書を作成)

※異常がある場合、提出書を作成することができません。チェック結果の詳細を確認して、修正後、再度チェックを行ってください。

## ④成果品を納入(活用版・保存版CD/DVD)

受注者は、「チェック済み納品データ」(電子提出書、スタイルシート、登録票を含む)をCD/DVD(活用版・保存版CD/DVD)に書込み後、最終チェックを行い、異常がないことを確認した上で、業務における成果品として監督員に納品します。

## ⑤成果品をチェック(活用版・保存版CD/DVD)

監督員は、チェックサーバにより成果品のチェックを行います。チェック結果に異常が検出された場合は、受注者に返却します。＜→納品データの修正を行い③の作業からやり直す＞

## ⑥成果品を納入(保存版CD/DVD)

受注者は、「納品データ」をCD/DVD(保存版CD/DVD)に書込み、NEXCO総研に納品します。

※保存版CD/DVDは、活用版CD/DVDと同一の「チェック済み納品データ」から作成して下さい。事前チェックを行ったファイルの更新日時と、CD/DVDに焼いたファイルの更新日時が同一であることを確認して下さい。

## ⑦成果品を照合(保存版CD/DVD)

NEXCO総研の管理者は、チェックサーバにより監督員に納入された成果品(活用版CD/DVD)と照合を行い、同一の内容であることを確認します。

## 【参考】電子納品データチェックシステムの平成25年4月版と平成17年4月版の違い

平成25年4月版は、平成17年4月版に対し、DTDバージョンを変更していないため、DTDファイルは平成17年4月版とすべて同一です。したがって平成25年4月版は、xmlファイルの記入例も基本的に平成17年4月版と同一ですが、主に下記の点を書き換えております。

・適用される要領等基準の変更

例：JH共通編200504

→NEXCO共通編201307

・発注機関名称等、民営化に伴う組織名称変更

例：日本道路公団〇〇建設局△△工事事務所

→〇日本高速道路株式会社〇〇支社△△事務所